

「水門」と「排水ポンプ」

六方川、戸牧川、前川、八代川などの河川には、円山川増水時に逆流を防ぐため、「水門」が設置されています。

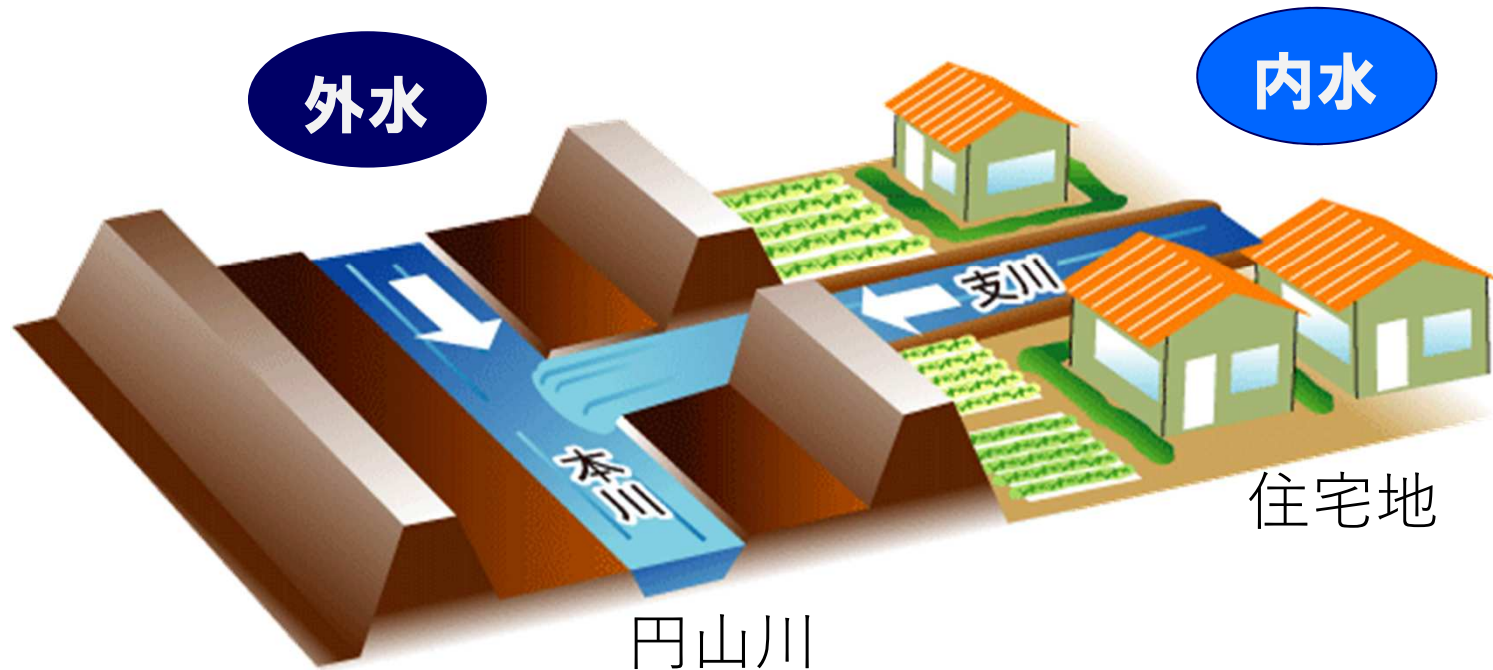
また、水門閉鎖により流下できない内水を円山川本流に強制排出するため、水門の傍には「排水ポンプ」が設置されています。

ここでは、水門と排水ポンプの関係を図化して解説します。

豊岡盆地の内水対策 1

【平常時】

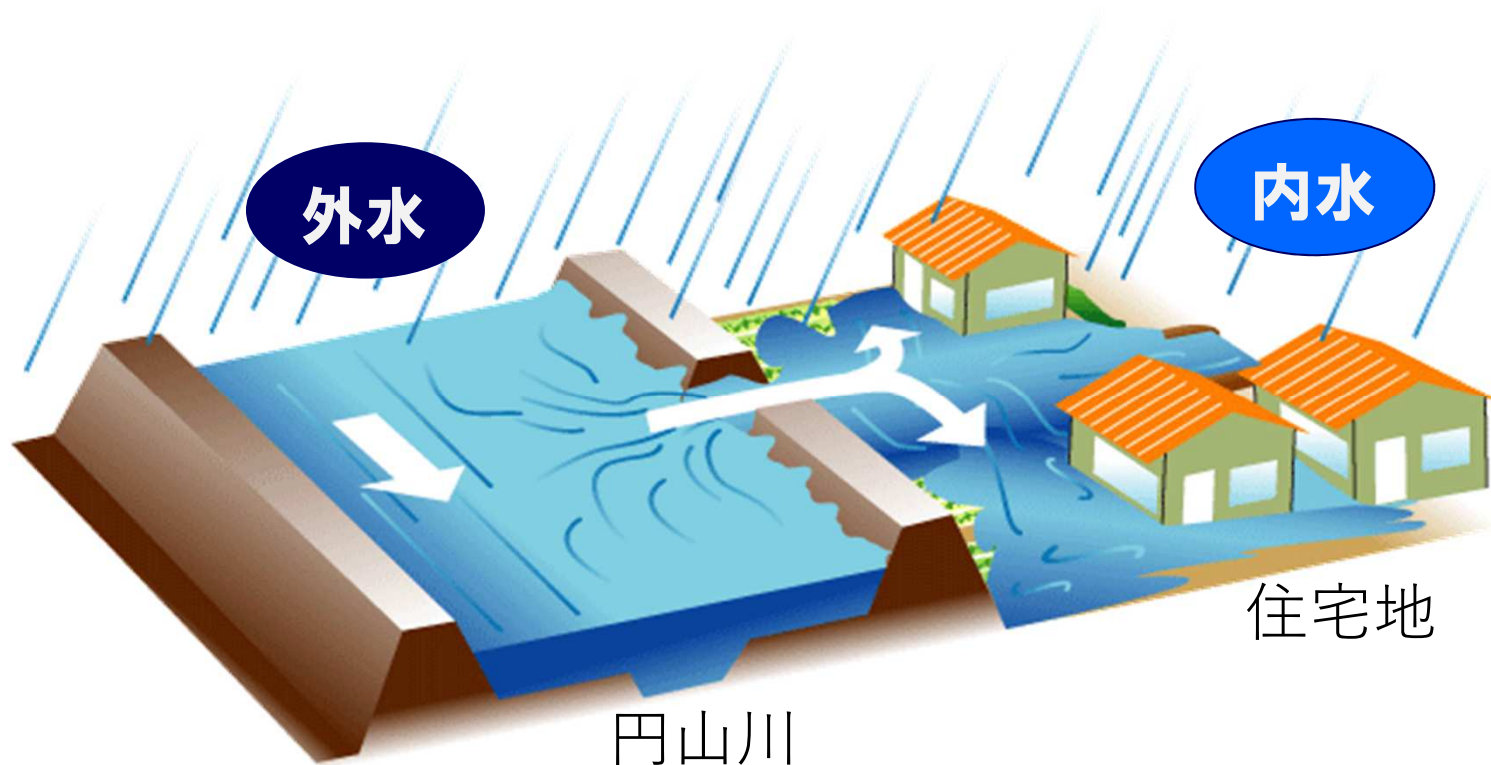
支川の水は、河川の勾配によって本川（円山川）へ自然に排水される。



豊岡盆地の内水対策 2

【円山川増水時に水門が無いと】

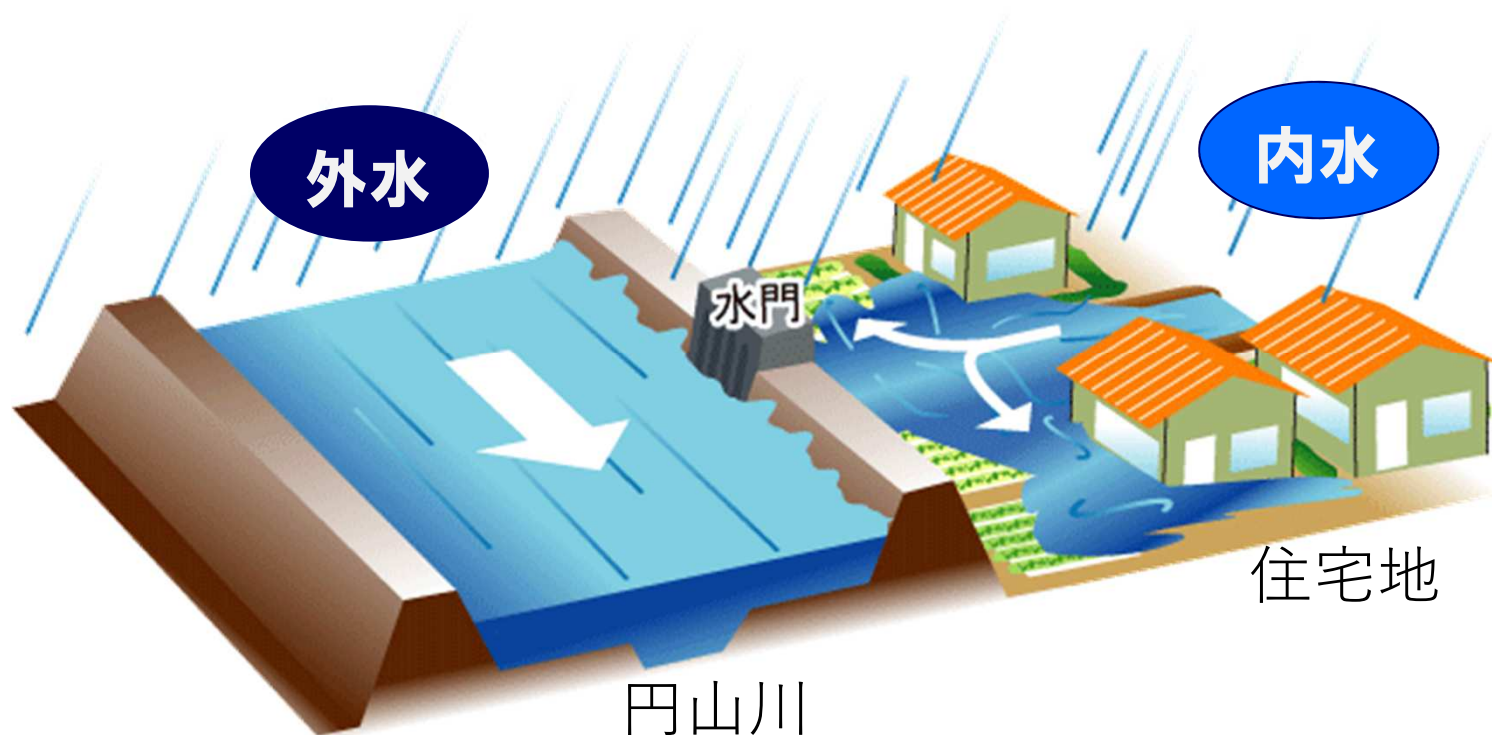
大雨が降り、本川（円山川）の水位が支川の水位より高くなると、本川の水が逆流し、浸水被害が起こる。



豊岡盆地の内水対策 3

【水門を設置し逆流を防ぐ】

支川の末端に水門を作ると、本川からの逆流を防ぐことができる。けれども、山などから流れ込む雨水は、本川（円山川）に流れない。



豊岡盆地の内水対策 4

【排水ポンプを設置し内水を排水】

排水ポンプを設置することにより、堤内地（住宅地）にたまった内水を本川（円山川）に排水することができる。

